

事業の進め方

1 事業の概略説明



測量・地質調査立入のお願いをします。

2 測量・地質調査



測量・地質調査に基づき設計案を作成します。

3 設計協議



道路の高さ、取付道路等の内容について地元の皆さんへ説明し、計画の内容をかためて、用地巾杭を設置します。

6 調印と登記手続き

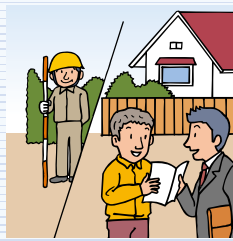


5 用地協議



用地買収及び補償の内容について、地権者の皆さんに説明します。

4 用地測量と物件調査



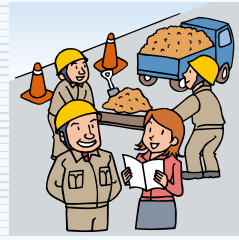
道路幅にかかる土地の測量をし、補償物件の調査をします。

7 工事説明



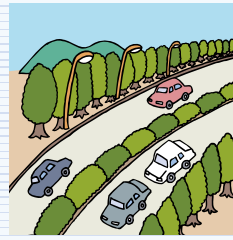
工事中に御迷惑をおかけしないように、工事の進め方、工事中の交通処理や、沿道への影響について説明します。

8 工事



工事中の相談等についても現場の監督官がおききします。

9 道路の完成



一般国道202号  
春吉橋架替事業



お問い合わせ

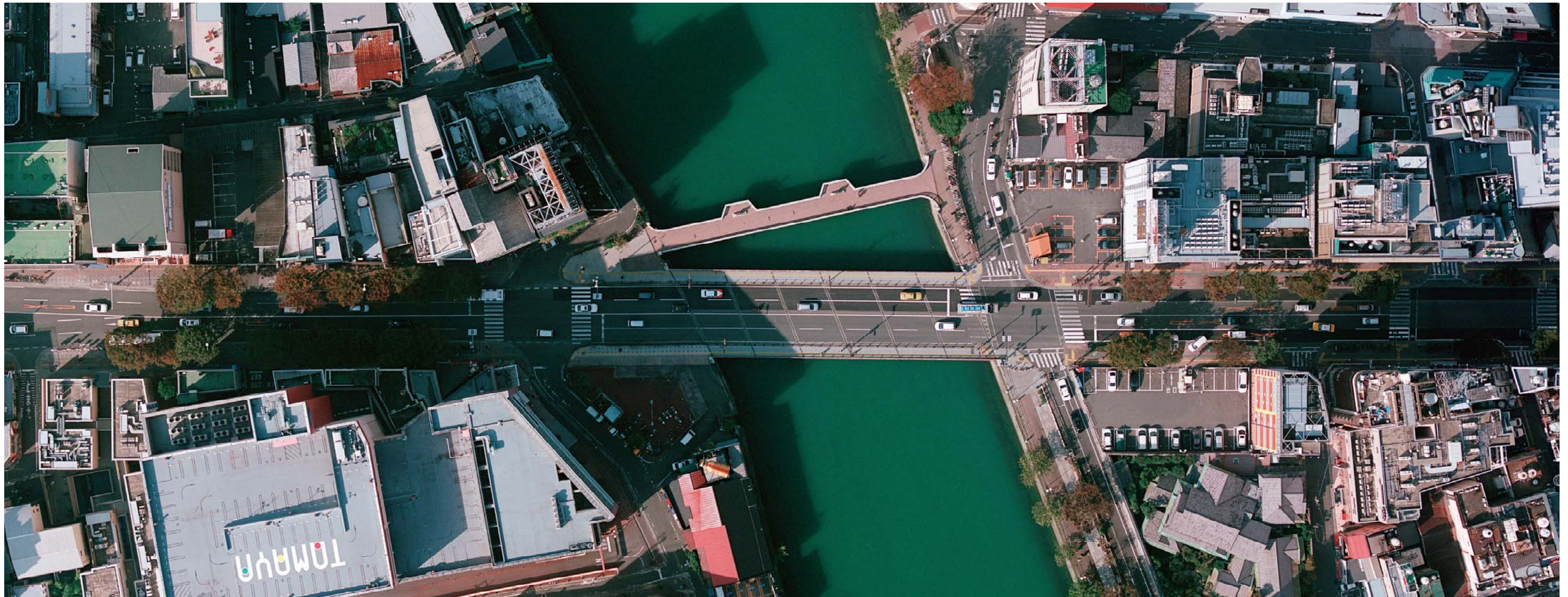
国土交通省 福岡国道事務所 計画課

〒813-0043 福岡市東区名島3丁目24番10号 TEL092-681-4731(代)

ホームページ <http://www.qsr.mlit.go.jp/fukkoku/>



## 春吉橋周辺航空写真



## 橋梁の架替事業

## ■国道202号 春吉橋架替 福岡県福岡市

春吉橋は、昭和36年に架設されて以来50年余りが経過しており、下部工の損傷が著しく、感潮区域（河口から約1.5km）にあるため、塩害も進行しています。更に基礎が木杭であるため、地震に対する十分な耐力が期待できません。

また、春吉橋が架かる那珂川は、平成21年7月の中国・九州北部豪雨で流域に甚大な浸水被害が発生したところであり、現在、福岡県で河川改修事業を進めています。春吉橋は、橋脚の間隔が短く、川幅も狭くなっているため、治水上のネックとなっています。

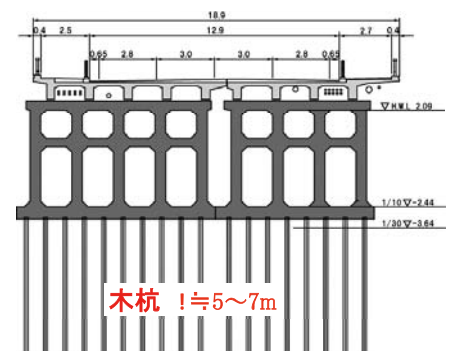
これらの課題を解消するため、平成25年度より春吉橋を架替える事業に着手しています。



春吉橋周辺の道路の冠水状況(平成21年7月26日)  
(住吉橋左岸より上流側を望む)



春吉橋の損傷状況：コンクリート剥離・鉄筋露出



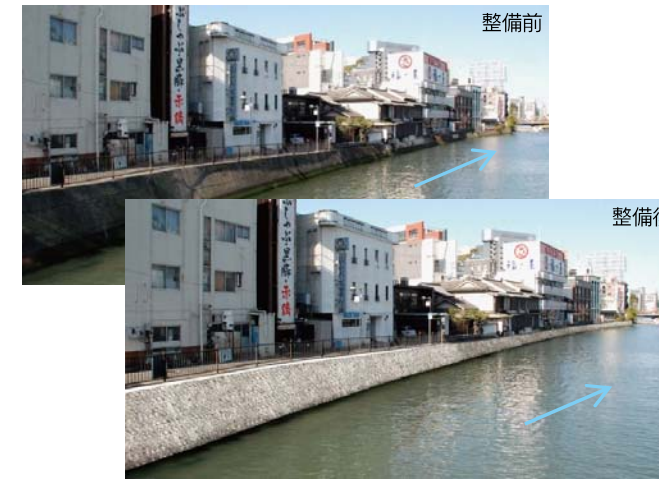
春吉橋を支える木杭の基礎



福岡都心部における回遊性向上の取組（福岡市）や河川の流下能力向上に向けた河川改修事業（福岡県）と連携します。

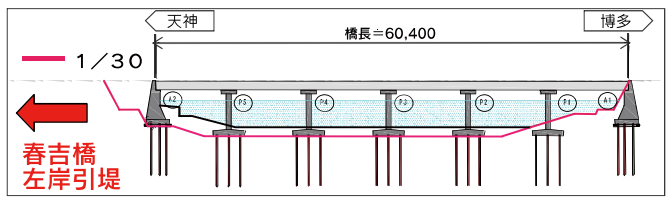
### 03 Haruyoshi Bridge 那珂川河川改修事業 《福岡県》

■修景護岸整備イメージ図(春吉橋より下流を望む)



■河川流下断面を阻害(那珂川)

○径間長が短く、治水上のネック箇所となっている。



### 04 Haruyoshi Bridge 地下鉄七隈線延伸事業 《福岡市》

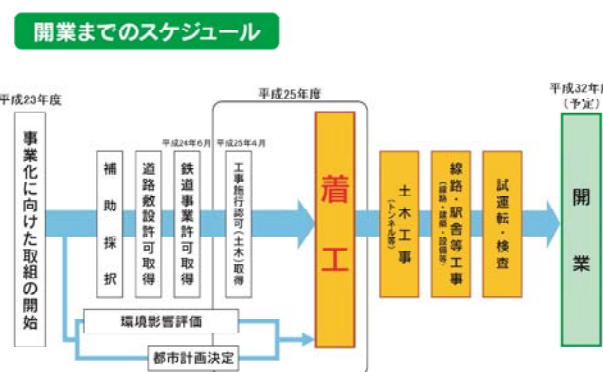


事業の概要

延伸区間	天神南～博多
建設キロ	約1.4km(営業キロ約1.6km)
建設費	約450億円
工法	全線地下式(開削工法、シールド工法、ナトム工法、アンダーピン工法)
乗車人員	約6.8万人(うち、新規利用者数、は約2.1万人) ※1マイカーなどから乗り換えて新たに地下鉄を利用する人数
開業予定	平成32年度



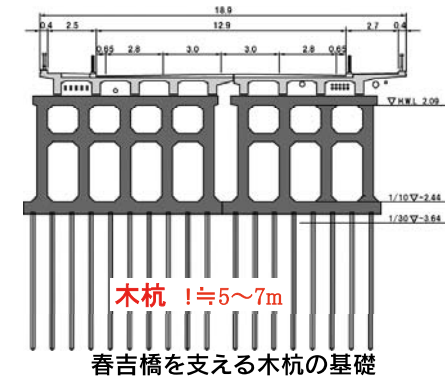
▶ 都心部内の移動がさらに便利になります  
西南部からの移動だけではなく、市内各方面から来られた方の都心部での移動についても、移動時間が短くなり、利便性が向上します。



春吉橋周辺の道路の冠水状況(平成21年7月26日)  
(住吉橋左岸より上流側を望む)



春吉橋の損傷状況：コンクリート剥離・鉄筋露出



春吉橋を支える木杭の基礎



## 道路空間の再編

### ■クルマ中心から「多様な利用者の共存」へ、道路空間を進化

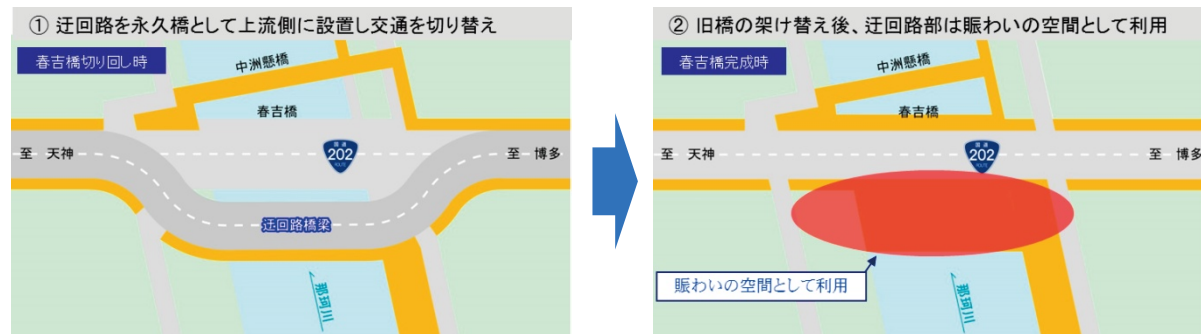
道路はクルマのためだけのものではなく、特に、都市部の一般道路では、クルマ以外にも、歩行者、自転車、新たなモビリティなど多様な利用者が通行しています。クルマの交通の円滑化を主な目的とする幹線道路ネットワークの整備の進展に伴い、今後はクルマ以外の利用者も含め、多様な利用者が安全・安心して共存できる環境整備を積極的に進めます。更に、道路空間が地域活性化の場として更に進化していくように、地域の街づくりと連携した空間創出も積極的に進めます。

## 春吉橋賑わい空間の創出

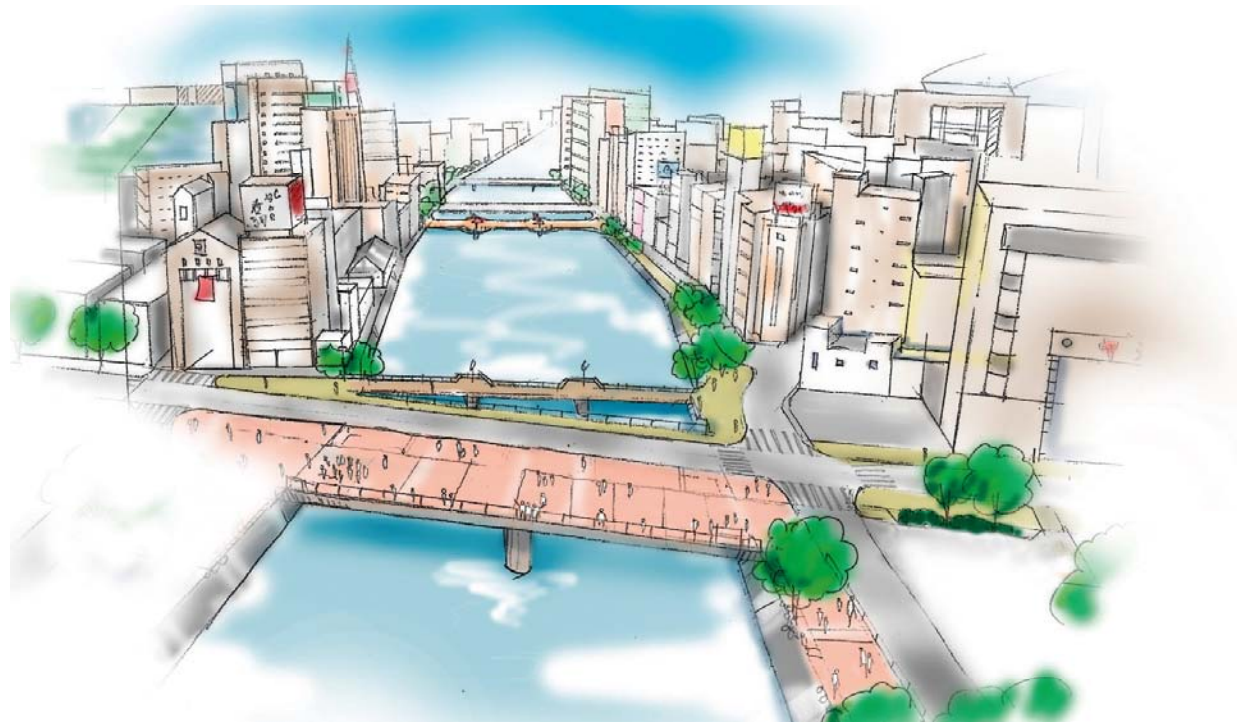
### ■迂回路橋を利用して、「福岡の顔」となる賑わい空間を創出

国体道路の春吉橋は、治水安全度や耐震性等の向上のための架替事業に平成25年度から着手しています。橋の架替については、仮設の迂回路橋を設置し、旧橋の架替後にこれを撤去するのが普通です。しかし、この事業では、迂回路橋を永久橋として建設し、架替後も存置して「福岡の顔」となる賑わい空間として利用する計画としています。

また、春吉橋の賑わい空間の創出と併せて、周辺の国体道路についても、地域の意見を伺いながら、歩行者、自転車等の多様な利用者を考慮した空間再編の検討を進めていきます。



春吉橋の架替ステップ

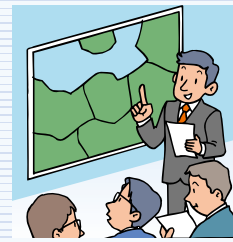


春吉橋賑わい空間のイメージ

## 一般国道202号 春吉橋架替事業

### 事業の進め方

#### 1 事業の概略説明



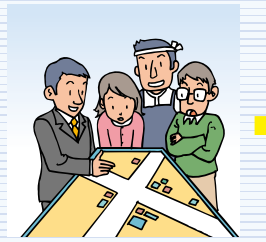
測量・地質調査立入のお願いをします。

#### 2 測量・地質調査



測量・地質調査に基づき設計案を作成します。

#### 3 設計協議



道路の高さ、取付道路等の内容について地元の皆さんへ説明し、計画の内容をかためて、用地中杭を設置します。

#### 6 調印と登記手続き



#### 5 用地協議



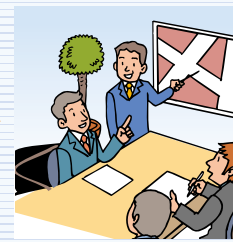
用地買収及び補償の内容について、地権者の皆さんに説明します。

#### 4 用地測量と物件調査



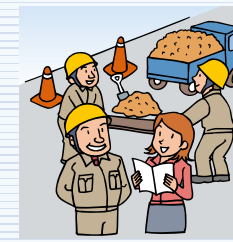
道路幅にかかる土地の測量をし、補償物件の調査をします。

#### 7 工事説明



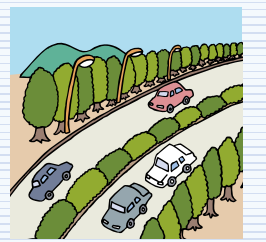
工事中に御迷惑をおかけしないように、工事の進め方、工事中の交通処理や、沿道への影響について説明します。

#### 8 工事



工事中の相談等についても現場の監督官がおききします。

#### 9 道路の完成



お問い合わせ

国土交通省 福岡国道事務所 計画課

〒813-0043 福岡市東区名島3丁目24番10号 TEL092-681-4731(代)

ホームページ <http://www.qsr.mlit.go.jp/fukkoku/>